監公表第2号

監査の結果に基づき講じた措置について小松市長から通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、次のとおり公表する。

令和5年5月30日

小松市監査委員 小 栗 巖

小松市監査委員 表 靖 二

定例監査の結果に対する措置状況

- 1 監査の種類 定例監査
- 2 対象部署 健康福祉部 ふれあい福祉課
- 3 監査結果の公表年月日 令和5年5月30日（小松市監査公表第2号）
- 4 措置通知の受理年月日 令和5年4月28日
- 5 監査の結果及び措置の内容

監査の結果	措置の内容
<p>指摘事項</p> <p>行政財産使用料の継続使用許可事案について、前回及び前々回の監査にて年度当初に請求されていなかったことについて指摘したところであるが、今回の監査においても改善されていなかった。条例に基づき適正に事務処理されたい。（行政財産使用料徴収条例第4条）</p>	<p>現在は、課内事務分担表に、使用料は使用前に徴収する旨記載をし、引継ぎ漏れの無いようにしている。今後も条例に基づき、適切に事務処理を行う。</p>
<p>改善要望</p> <p>次の事項につき、前回の監査において指摘事項としたものの改善が行われていない。指摘事項について改善等に取り組むことは、監査の実効性を確保するうえで必須であり、指摘事項について規則等に基づき、適正に事務処理されたい。</p> <p>①現金を窓口で領収した際に現金領収証書を作成していない。 （小松市財務規則第36条）</p> <p>②身体障害者更正資金貸付金償還金の未収金に対する取り組みがなされていないことに加えて、今回の監査において生活保護費返還分の未収金に対する取り組みがなされていないものが見受けられた。</p>	<p>①現在は、窓口で現金を領収した際は、ダブルチェックを行い、現金領収書の作成も確認している。</p> <p>②本人と電話し、返還の意思を確認し、分納納付書を送付した。今後も引き続き、返済を促す。</p>